

社内標準
(技術標準)

AMP

日本エー・エム・ピー株式会社

適用事業所

管理基準：一般顧客用

全社

502-1056
技術報告書

アンプモジュ MTE コネクタ、コンタクト保持力抄録

1. 適用範囲

1.1 まえがき

本報告書を作成した目的は、米国 AMP Capital Goods Business Unit Test Engineering Laboratories のファイルにある試験記録から、コンタクト保持力測定に関わるものを抄録にまとめたものである。ここでいう試験中のコンタクト保持力とは、ハウジング内部に十分に挿入されているコンタクトを、ハウジングの外に動かして引出すに要する力と定義する。

2. 試験結果の抄録

CGL- 試験番号	最小保持力		最大保持力		平均保持力		標準偏差		データ測定 箇所の数
	kg	(lbs.)	kg	(lbs.)	kg	(lbs.)	kg	(lbs.)	
5464-72	2.33	(5.13)	4.54	(10.01)	3.54	(7.80)	0.553	(1.22)	30
5464-75	1.38	(3.05)	3.81	(8.41)	2.78	(6.12)	0.685	(1.51)	30
5464-76	2.11	(4.65)	5.07	(11.18)	3.87	(8.53)	0.558	(1.23)	26

Fig. 1 コンタクト保持力データ抄録 kg(ポンド)

作成：

分類：

技術報告書

検閲：

コード：

502-1056

改訂

0

承認：

名称：

アンプモジュ MTE コネクタ、
コンタクト保持力抄録

改訂 改訂記録 作成 検閲 承認 年月日

年月日制定

3頁中1頁

CGL- 試験番号	試験実施日	リセプタクル アセンブリ型番	電線サイズ (AWG)	引張速度 (インチ/分) mm/分
5464-72	23 July, '91	103644-9	#24 AWG	1
5464-75	01 Apr., '92	103644-9		0.5
5464-76	17 Dec., '92	1-103644-5 103957-4	註参照	1

(註)試験 CGL-5464-76 については、コンタクトがハウジング内に維持された仮電線がコンタクトから引き抜けてしまった。電線サイズは記録されていない。

Fig. 2 試験の内容情報

3. 試験手順

コンタクト保持力試験は、AMP 試験規格 109-30 改訂 C に準拠して行われた。但し「引抜力はコネクタ内に十分に挿入された位置から、コンタクトが引き抜かれるまで加えられた。」の項目を読み加えた。

コネクタは挿入力試験機の XY 軸テーブルの万力に挟んで保持された。圧着した電線は引張力を加えるセル側に取り付けた空圧挟み治具に挟み込まれ、上方に可動するインストロン・ヘッドに取付けられており、引抜力は、コンタクトの引抜き又は電線の破断のいずれかが生じるまで、上方に引抜力を加えた。

4. 試験装置の表

E4997 の番号の入っている全試験装置は AMP Metrology Department を通じて National Institute of Standards and Technology (NIST) による校正を受け、且つこの記録は溯ってとり出すことができるようになっている。

試験器材	E 4997 - 製造者名	型番
引張力/圧縮力測定機	0469,0293 Instron	1122
引張力セル	0469,0293 Instron	1000 Lb

分類： 技術報告書	標準の名称： アンプモジュ MTE コネクタ、 コンタクト保持力抄録	標準のコード： 502-1056	改訂	2 頁
			0	3 頁中

分類：
技術報告書

標準の名称：
アンプモジュ MTE コネクタ、
コンタクト保持力抄録

標準のコード：
502-1056

改訂
0

3 頁
3 頁中